

# ユガテの森から

NO5

発行 NPO法人 西川木楽会 埼玉県飯能市大字飯能291番地 平成28年1月1日

代表理事 吉野 勳

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

一昨年から始まった森林・山村事業による山仕事で、ユガテの森の周辺へと“森づくり”の活動の広がりが出てきました。また、既



設の資材倉庫やテラス、獣害防護ネット、キノコ栽培のためのビニールハウスが整い、以前からある炭焼き窯や簡易製材機で製材された木材もだいが集積し、これらの活用が今後の楽しみです。

また、“木の活用”のために、「一本の木コンテスト」から「一本の木オーディション」を2年間駿河台大学の駿輝祭で行いました。そして昨年は「真壁と暮らし部会」を発足し、飯能市街地の真壁調査と木製ジャングルジムを制作し、駿河台大学の駿輝祭と飯能市の西川材フェアで子供たちが組み、遊び、解体するイベントを行い大変好評でした。

ところで、昨年の夏の酷暑や豪雨のような気候変動が、世界のあちこちで起きている昨今ですが、昨年末のパリ協定は今世紀後半に二酸化炭素の人為的排出と吸収を均衡させることで、地球温暖化防止への国際枠組みが合意されました。

地表で唯一の二酸化炭素を固定する木が主役です。伐採した木をその樹齢以上に大切に活用してきた日本の「木の文化」を参考に、身近なところから実践したいと改めて思いました。

伐ったら植えることができる“森づくり”と無垢の木でつくる安心安全な暮らしを実現する“木の活用”の両輪が必要と思います。今年は“森づくり”と“木の活用”の連携に微力ながら取り組んでいきたいと思います。そこで、西川木楽会の紹介と木の活用のリーフレットをつくり、今後の活動に役立てたいと思います。是非、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

環境省は、2004年エコツーリズムを推進し全国に広めるために、全国の自治体から、モデル事業の実施地区を募集しました。その結果、全国53地区から応募があり、飯能・名栗地区を含む13地区が選定されました。飯能・名栗は3分野に分けられた内の1つ「里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取り組み」に含まれました。

エコツーリズムとは、自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方です。

飯能・名栗エコツーリズムとして出発しました。両地区合併以後は飯能エコツーリズムと名称変更を経て10年を経過して現在に至っています。

西川木楽会は飯能地区としては第2回目のエコツアーとして2005年11月3日に「大ブナに会いに行こう」を実施し、以後も継続して行われています。

ESD (Education for Sustainable Development) とは「持続可能な開発のための教育」という意味の言葉です。

2005年に国連総会で「国連ESDの10年」が採択され昨年その期間は終了しましたが、その内容はGAPに引き継がれております。

ESDは、持続可能な開発を実現するために発想し、行動出来る人材を育成する教育です。

幼稚園から小学校へその内容は、環境の保全・経済の開発・社会の発展などがあげられます。

その中でも「生きる力」を育む環境教育が大切にされております。

森林を活用した環境教育が重要な項目と成って来ています。

1997年から始まったユガテの森づくりも18年が経過し立派な森となりました。

この間ユガテの森を活用していろいろな活動が進められているところです。近年、飯能市エコツーリズムとの協働が進められておりますが、森林ESDとしての取り組みで小学校との連携を深めてゆけたら良いのではと思います。

これからも、ユガテの森の活用をみんなで考えて行きましょう



## 3ヶ月の出来事



ユガテの森の栽培きのこ



10月24, 25日 入間万燈まつり



11月15日 西川材フェア



11月21日 日本橋街大学 講座



11月28日 西武球場



11月29日 エコツアー



12月12日 忘年会

## 西川木楽会 3 カ月予定表 (2016年1月から3月)

月 日	時 間 帯	行 事 内 容	場 所
1月10日(日)	10:00から16:00	山仕事初め・自由討論会 (新年会)	ユガテの森
1月23日(土)	10:00から15:00	ユガテの活動日	ユガテの森
1月30日(土)	9:30から16:00	エコツアー 「ユガテの森で炭焼きとピザ焼き体験」	ユガテの森
2月16日(火)	18:30から21:00	理事会	富士見公民館
2月27日(土)	10:00から15:00	ユガテの活動日	ユガテの森
2月28日(日)	9:30から16:00	エコツアー 「ユガテの森で箸づくりと猪なべ」	ユガテの森
3月26日(土)	10:00から15:00	ユガテの活動日	ユガテの森
3月27日(日)	10:00から16:00	飯能市生涯学習フェスティバル	駿河台大学
4月 9日(土)	10:00から15:30	ユガテの春を楽しむ	ユガテの森

### 備考 1. 定例活動日

ユガテ：第4土曜日 任意の製材作業：毎週火曜日

真壁と暮らし部会：第3土曜日 但し 1/17(日)

理事会は原則偶数月第3火曜日 2/16

太字は臨時活動日

- エコツアー「ユガテの森で炭焼きとピザ焼き体験」希望者は申込み 会費2,000円
- エコツアー「ユガテの森で箸づくりと猪なべ」希望者は申込み 会費2,500円
- 森林・山村多面的機能発揮対策事業は別途予定で実施  
ホームページ サイボウズ <https://cybozulive.com> 参照して下さい
- 時間帯に拘ることなくご都合の良い時間にご参加いただいても結構です

お問い合わせは事務局までお願いいたします

(宮島 TEL: 090-7816-8900 E-Mail: yo47miya@yahoo.co.jp)

**ユガテの森で炭焼きとピザ焼き体験**

1月30日(土)  
9:30~16:00  
雨天顺延: 1月31日(日)

ユガテの森で、竹炭づくりを体験していませんが、今回は、購入しと準備しを一日で体験できます。炭の材料は、竹林の整備で採集した竹を利用します。竹炭焼き体験を通して環境保全や自然素材の良さを感じてみませんか。お量はあまじき、アツアツピザをいただきます。  
※つくった炭は別袋で持ち帰ります。  
※有料駐車場が別途ハイキングします。(ガイド込み)

集合場所	西武池袋線「東武野駅」駅前広場
費用	一人2,000円(ガイド、昼食、保険等)
定員	15名
ガイド	小原宗一 (NPO法人西川木楽会、森林インストラクター)
持ち物	飲み物、帽子、傘、タオル、雨具など、つくった炭を持ち帰るための袋など
服装	歩きやすい服装、防寒着
過去のエコツアーの様子	ユガテの森で箸づくりとピザ焼き体験 (2015年)

お申込み・お問い合わせ  
NPO法人 西川木楽会 (小見寺)  
TEL: ☎ [090-7816-8900](tel:09078168900)  
Email: [omidara@beige.ocn.ne.jp](mailto:omidara@beige.ocn.ne.jp)

**ユガテの森で箸づくりと猪なべ**

2月28日(日)  
9:30~16:00  
雨天実施

薪割の名産である木材「西川材」。今回は、森林の整備で採集した炭材を使って、五角形の箸づくりを体験します。お量は、製作したお箸を使って猪なべをいただきます。神を感謝しましょう。午後の食事場での懇話会、製材所の見学もします。  
※作業場まで5分程度ハイキングします。(ガイド込み)  
※雨天時は、箸づくりと猪なべづくりのみの実施となります。

集合場所	西武池袋線「東武野駅」駅前広場
費用	大人2,500円(小学生以下2,000円)(ガイド、材料、昼食、保険等)
定員	15名
ガイド	小原 宗一 (NPO法人西川木楽会)
持ち物	飲み物、帽子、傘、タオル、雨具など
服装	軽作業がしやすい服装 (長そで、長ズボン)、防寒着
過去のエコツアーの様子	ユガテの森で箸づくりと猪なべ (2015年)

お申込み・お問い合わせ  
NPO法人 西川木楽会 (小見寺)  
TEL: ☎ [090-7816-8900](tel:09078168900)  
Email: [omidara@beige.ocn.ne.jp](mailto:omidara@beige.ocn.ne.jp)

### 編集後記

ようやく、新国立競技場の設計が決まり、木材を多く使用する建物とのことです。日本の木材自給率は久々に30%を超えました。木材輸出も順調に伸ばしています。公共建築物の木造化、木質バイオマス利用、ナノファイバーなど木材への関心が高まっています。しかし、山林所有者には、伐採し、販売しても、ほとんどが経費で消えてしまう現実があります。補助金に頼らずとも、林業が成り立つ方策を考え、実行したいものです。(宮島)